

第1学年1組 音楽科学習指導案

1 題材 「魔王」

2 指導観

- 鑑賞の授業では、単に音楽を表層的に快いとか、きれいだということにとどまらず、その音楽の内容を自ら知覚・感受し、自分なりに価値あるものとして意味を見出すことが求められている。共通事項を支えにしながら、楽曲を形づくる要素と曲想との関わりを感じ取らせることを通して、主体的に聴く態度を育てることは大変価値のあることである。

本題材ではシューベルト作曲の「魔王」を扱う。この曲は、伴奏のリズムの変化や強弱、旋律の高低などの音楽の特徴が分かりやすく、また、詩も「語り手」「父」「子」「魔王」という4つの登場人物の対話形式で進行し、人物ごとに声色を工夫して歌うことから、曲想の変化をとらえやすい構成になっている。そこで学習内容では、歌い手が一人で登場人物を歌い分けていることに着目させ、曲想と関連付けて表現を工夫していることを理解させる。そしてピアノ伴奏や、詩の内容と音楽を形づくっている要素との結びつきを感じ取らせ、歌曲の表現の豊かさを味わわせたい。さらに、感じ取ったことを「言葉で説明する」、つまり音楽を形づくっている要素や構造などをイメージしたことの理由としてあげながら音楽のよさや美しさについて述べられる力を身に付けさせたい。また、自ら感じたことや自分なりに解釈したことをもとに話し合う場面を設けることで、他者の感じ方や解釈も参考にして学びを深め合い、一人一人が音楽に対する関心をより深めることは大変意義深い。

- 本学級の生徒はこれまでに、ヴィヴァルディ作曲「春」(第1楽章)を鑑賞してきており、曲想を感じ取って情景を想像したり、音楽の特徴とソネットの結びつきを考えたりしている。その中で、音楽で作曲者がイメージした情景を表すことができることに気づき、音色、強弱、速さなどの音楽を形づくっている要素を知覚し、曲想を感じ取っている。しかし、感じ取った音楽の雰囲気などについて、音楽を形づくっている要素に触れながら、自分なりの言葉で説明することはできていない。そこで本題材を学習するにあたり、登場人物ごとに音楽の特徴をとらえ、自分たちが感じ取った曲想を交流する場面をつくり、音楽を形づくっている要素や構造などをとらえながら、その音楽のよさを味わうことができる生徒を育てていきたいと考える。
- 指導にあたっては、音色、リズム、速度、旋律、強弱などの音楽を形づくっている要素から4人の登場人物の心情の変化を感じ取らせ、自分の言葉で説明できるようにしたい。また、一人一人が楽曲をより深く聴いて味わい、言葉で説明し合う中で、音楽の良さや楽しさを感じる力を身に付けさせたい。そのためまず、歌い手が一人で登場人物を歌い分けていることに着目させ、音色、リズム、速度、旋律、強弱などの共通事項を手がかりに曲想と関連付けて表現を工夫していることを理解させる。ここでは、役柄に応じた歌い手の声の高低差や表情、声やピアノの音色の変化などをとらえさせる。そして班で役柄を決め、曲をいて取り感じ取ったことを活かして、日本語の詞を楽曲の雰囲気に合わせて朗読し、歌詞の内容に合わせて歌い手の表現が変化していることを感じ取らせたい。次に声やピアノの音色、登場人物の心情や情景を表現した旋律、強弱の変化を感じ取る。ここでは、ピアノ伴奏に着目させ、登場人物によって変化するピアノの強弱や、音色、リズムの変化や、前奏に演奏される3連譜のリズムから、魔王の場面に合わせてピアノ伴奏がつけられていることを理解する。また、子の部分のみを取り出して聴き、声の音色の変化や音高の変化などを子の心情の変化とかかわらせながら感じ取らせたい。最後に、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って解釈したり価値を考えたりし言葉で説明し、音楽の良さや美しさを味わせる。

ここでは、これまでの学習を生かして「魔王」の良さなどを紹介する文章をワークシートに書いて、要素や構造などをイメージしたことの理由としてあげながら音楽のよさや美しさについて述べられる力を養いたいと考える。

3 目標

- (1) 詩の内容と曲想のかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
[音楽への関心・意欲・態度]
- (2) 声やピアノの音色、リズム登場人物の心情や情景を表した旋律、強弱の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受している。
[鑑賞の能力]
- (3) 鑑賞したことを根拠にしながら、そこに自分の価値や思いを加え、音楽の良さや美しさを味わって紹介文を書くことができる。
[鑑賞の能力]

4 単元計画・評価計画（4時間）

次	時	学習活動・内容	ねらいと具体的な支援	観点別評価規準〔方法〕
一つかむ	1	<p>1 楽曲について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 魔王の曲の概要を知る。 作曲者について知る。 <p>・班で役割を決め、魔王の詩の朗読を行う。</p>	<p>魔王の曲について知り、詩が表現している内容について理解することができる。</p> <p>・楽曲の特徴を感じ取るために、声の特徴や伴奏、曲の雰囲気などをもとに考える。</p>	<p>関：楽曲について関心を持って聞いている。</p> <p>〔様相〕</p>
二さぐる深める	2	<p>2 登場人物の心情に合わせた曲想の変化を感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物ごとの声の音色の違いを考える。 登場人物ごとの強弱の変化について考える。 登場人物ごとの旋律の変化について考える。 登場人物ごと、物語の進行に合わせて変化する伴奏について考える。 聴き取ったことを活かして魔王の詩の朗読を行う。 	<p>登場人物の心情に合わせた曲想の変化を感じ取ることができるようにする。</p> <p>・表現の違いを聴き取るために音色、強弱、旋律、リズム等を手がかりに鑑賞する。</p> <p>・子の部分の音高の変化を感じ取るために子の部分の旋律をピアノで弾く。</p> <p>・聴き取ったこと活用するために班で役割を決め、詩の朗読を行う。</p>	<p>鑑：声やピアノの音色、リズム登場人物の心情や情景を表した旋律、強弱の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受している。</p> <p>〔ワークシート〕</p> <p>関：詩の内容と曲想のかかわりに関心を持ち、朗読を行っている。</p> <p>〔様相〕</p>
三生かす	1 本時1 ／ 1	<p>3 学習のまとめとして「魔王」の紹介文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を振り返る。 学習のまとめとして、「魔王」の紹介文を書く。 紹介文を交流する。 紹介文を全体に発表する。 表現の違いを感じとるために「アヴェマリア」を鑑賞する。 	<p>「魔王」の音楽について、「自分が気に入ったところなど、ぜひ他の人に紹介したいこと」を紹介文を書くことができるようにする。</p> <p>・音楽から想像したことや感じ取ったことと「その理由」を含めて紹介文を書くために音色、リズム、旋律、強弱のうちから2つ以上の言葉を用いるよう指示する。</p>	<p>鑑：鑑賞したことを根拠にししながら、そこに自分の価値や思いを加え、音楽の良さや美しさを味わって紹介文を書いている。</p> <p>〔ワークシート〕</p> <p>関：紹介文を相手に伝わるように発表することができている。</p> <p>〔様相〕</p>

5 本時 平成30年11月13日（火） 第1校時 音楽室において

(1) 本時の指導観

これまでに生徒は、ヴィヴァルディ作曲「春」（第1楽章）を鑑賞してきており、曲想を感じ取って情景を想像したり、音楽の特徴とソネットの結びつきについて学習している。前時では、登場人物に合わせた音色の変化や、登場人物の心情に合わせて変化する強弱、旋律、伴奏の変化を学習した。本時では、「魔王」の音楽について、「自分が気に入ったところなど、ぜひ他の人に紹介したいこと」を紹介文を書くことができるようにすることをねらいとしている。まずこれまでの学習を振り返り、登場人物の心情に合わせた曲想の変化を確認する。ここでは、前時の板書をまとめを黒板に掲示する。そして、鑑賞したことを根拠として「魔王」の紹介文を書き、班、全体へと交流していく。

(2) 本時の主眼

- 「魔王」について鑑賞したことを根拠にししながら、紹介文を書くことができるようにする。

(3) 評価の観点・方法

評価規準	観点	段階	方法
鑑賞したことを根拠にしながら、そこに自分の価値や思いを加え、音楽の良さや美しさを味わって紹介文を書くことができる。	鑑賞の能力	深める	ワークシート

(4) 準備

拡大版振り返りシート、拡大学習プリント、学習プリント、魔王DVD

(5) 展開

段階	学習活動・内容	生徒の反応 (自分事の問い)	具体的な支援	配時	形態
つかむ	1 前時の復習を行う。 (1) 登場人物の心情に合わせた曲想の変化を感じ取る。 ① 登場人物ごとの声の音色、強弱、旋律、伴奏について復習する。	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物ごとの声の音色、強弱、旋律、伴奏はそれぞれどうだったかな？ 父は声が低く、子は怯えるごとに声が高くなっていく。魔王は最初は優しい声で誘っているが最後は激しい声で歌っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 黒板に前時の振り返りシートを貼り、これまでの学習を振り返る。 	10分	一斉
	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて 「魔王」の紹介文をつくろう。</p>				
さぐる・深める	2 紹介文を書く。 (1) 紹介文の書き方を知る。 ①学習したこと振り返り「目」の欄に入ったところを答える。※最大2つまで ②その時の自分の気持ちを()の中に書く。 ③学習プリントでまとめた、声の音色、強弱、伴奏、曲調、伴奏の音楽の特色を挙げて、文章としてまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 「魔王」の音楽について、「自分が気に入ったところなど、ぜひ他の人に紹介したいこと」を紹介文を書くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 書き方の例を参考に、自分の楽曲に対する考えや、これまで学習したことを根拠としてあげながら紹介文を書く。 	7分	一斉
	(2) 紹介文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習で考えたことを根拠にしながら、紹介文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を流しながら学習を振り返る。 	13分	班
生かす	3 発表したことをまとめる。 (1) 紹介文を交流する。 (2) 全体で交流する。		<ul style="list-style-type: none"> 紹介文を交流し友達のよい所をプリントにまとめる。 	10分	一斉
	4 学習のまとめをする。 (1) 教師の説話を聞く (2) アヴェ・マリアを鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞で学習したことを表現の分野につなげていくことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> アヴェ・マリアと魔王の表現の違いを考え、合唱活動に活かすようにする。 	5分	5分

♪音楽学習プリント♪

1年 組 番 名 前

めあて

『魔王』の気に入ったところを友達に紹介しよう！

☆作り方

- ①学習したことを振り返り、『魔王』の気に入ったところを考える。※最大2つまで
- ②その時の自分の気持ちを（ ）の中に書く。
- ③学習プリントでまとめた、声の音色、強弱、リズム、伴奏の音楽の特徴を踏まえて、文章としてまとめる。

魔王の良さ、素晴らしいさ、紹介したいこと

○

○

シューベルトが作曲した『魔王』を聴いて気に入ったところは、

その理由は・・・

私は（ ）さんの発表を聞いて

と思いました。

私は（ ）さんの発表を聞いて

と思いました。

♪音楽学習プリント♪

1年 4組 1番 名前 木村 友香

めあて

『春』の気に入ったところを友達に紹介しよう！

☆つくり方

- ①学習したことを振り返り、『春』の気に入ったところを考える。※最大2つまで
- ②その時の自分の気持ちを()の中に書く。
- ③学習プリントでまとめた、声の音色、強弱、リズム、伴奏の音楽の特徴を総括して、文章としてまとめる。

春の良さ、素晴らしさ、紹介

- 春のテーマ (ウキウキする)
- 小鳥の鳴き声 (本物の小鳥の声に聞こえてすごい！)

☆自分の気持ち

- ウキウキ
- 本物の小鳥の声に聞こえてすごい

ヴィヴァルディが作曲した『春』を聴いて、気に入ったところ

最初に演奏される「春のテーマ」、独奏ヴァイオリンや弦楽合奏が奏でる小鳥の声です。

その理由は・・・

春のテーマは弾んだリズムで軽やかに演奏され聴いている自分まで気持ちがウキウキしてきます。途中に出てくる独奏ヴァイオリンや弦楽合奏が奏でる小鳥の声は、高い音や低い音、楽器の違いで様々な小鳥の声を表現し、本物の小鳥の声に聞こえて、すごいなと思いました。

私は()さんの発表を聞いて

「小鳥は再び歌い始める」のところで、音が暗くなっていったところが響が過ぎ去った感じが暗かったけど、次第に明るくなってきたところがすごいと言っていました。

私は()さんの発表を聞いて

☆音楽の特徴

- 弾んだリズム
- 高い音や低い音、楽器の違いで様々な小鳥の声を表現